

授業科目	精神保健福祉に関する制度とサービス				単位	4		
履 修	選択	関連資格	精神保健福祉士		ナンバリング	WE11301 J		
開講年次	2年	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP3-1			
担当教員	梶原 浩介							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>精神保健福祉に関する制度とサービスに関する知識と支援内容について理解をし、それらに関わる社会資源について知識を高める。また実務家教員として、精神科病院や教育機関での相談援助業務の経験を基に、メンタルヘルスや子ども支援を通して感じた社会的課題に対して取り組んだ、地域共生社会に向けた実践事例等を用いて、社会資源の調整や開発などについて考察するためのグループワークなどを取り入れ、基本的な知識を身に着ける。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 精神保健福祉に関する福祉制度の概要と福祉サービスを理解する</li> <li>2. 精神障害者に関連する社会保障制度について理解する</li> <li>3. 相談援助にかかわる組織、団体、関係機関および専門職や地域の支援者について理解する</li> <li>4. 社会資源の調整・開発に関わる社会調査について理解する</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	90	0	0	0	0	10	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)	90						90	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)						10	10	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 精神保健福祉に関する制度とサービスについて理解し、他者に説明できる。</li> <li>2. 相談援助に関連する組織、団体、関係機関および専門職や地域の支援者について理解し、他者に説明できる。</li> <li>3. 社会資源の調整・開発に関わる社会調査について理解し、他者に説明できる。</li> </ol>				<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 精神保健福祉に関する制度とサービスについて理解している。</li> <li>2. 相談援助に関連する組織、団体、関係機関および専門職や地域の支援者について理解している。</li> <li>3. 社会資源の調整・開発に関わる社会調査について理解している。</li> </ol>				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	オリエンテーション。社会保障全体からみた精神保健福祉に関する制度とサービスについて解説する。	講義	講義範囲のテキスト事前通読	30分
2	社会保障全体からみた精神保健福祉に関する制度とサービスについて解説する。	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
3	精神障害者の生活支援の理念と概要について解説する。	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
4	精神保健福祉法の成立までの意義、その後の変化について解説する	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
5	精神保健福祉法の成立までの意義、その後の変化について解説する	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
6	精神保健福祉法の概要について解説する。	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
7	精神保健福祉法における精神保健福祉士の役割について解説する。	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
8	精神保健福祉の動向について解説する。	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
9	障害者基本法と精神障害者施策とのかかわりについて解説する。	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
10	障害者総合支援法成立の背景や精神障害者の福祉サービスの実際について解説する。	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
11	国、都道府県、市町村における精神障害者施策について解説する。	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
12	精神障害者等を対象とした福祉施策・事業について解説する。	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
13	最近の動向について解説する。	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
14	精神障害者と社会保障制度について解説する。	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
15	医療保険制度について解説する。	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
16	介護保険制度について解説する。	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
17	経済的支援に関する制度について解説する。	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
18	精神障害者の支援に必要な資源について解説する。	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
19	相談援助にかかわる行政組織と民間組織や、福祉サービス提供施設・機関の役割について解説する。	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
20	インフォーマルな社会資源の役割について解説する。	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
21	専門職や地域住民の役割と実際について解説する。	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
22	掲示司法と更生保護や保護観察所と更生保護の担い手について解説する。	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
23	司法・医療・福祉の連携の必要性和実際や支援課題について解説する。	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分

24	医療観察法の意義と内容について解説する。	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
25	医療観察法の審判と精神保健参与員の役割について解説する。	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
26	医療観察法における入院医療と通院医療について解説する。	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
27	医療観察法施行後の現状と課題について解説する。	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
28	社会調査の意義と目的について解説する。	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
29	社会調査の対象や倫理、留意点について解説する。	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
30	授業全体のまとめを行う。	講義	前回講義範囲のテキスト通読	30分
理解に必要な予備知識や技能	精神保健福祉およびメンタルヘルスに関する情報(新聞、雑誌、ニュースなど)について関心を持ち、わからないことがあったら調べてみるなど積極的な姿勢が必要です。			
テキスト	新・精神保健福祉士養成講座「精神保健福祉に関する制度とサービス」中央法規			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業内で提示します。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	より理解を深めていくために、必ず事前にテキストを一読しておいてください。 精神保健福祉領域の情報等に興味関心をもってアクセスし、理解を深めてください。			
達成度評価に関するコメント	試験、レポート、積極性にて評価します。その他については、発表やノート、授業態度などを総合的に評価いたします。			